

ペンギンの会 ニュース

No.40 2020.5

ペンギンの会を支えてくださっている皆さん、いかがお過ごしでしょうか？ やっと厳しかった冬が去り、すがすがしい季節になってきましたね。小鳥のさえずりに心も洗われるようです。でも、今年はコロナウイルスによって、ペンギンの会の花見も中止となってしまいました。

先の3月15日(日)には、『東日本大震災・福島原発事故・熊本地震被災「障害」者支援街頭カンパ』として、四条河原町でいつものように街頭カンパ活動を行ってきました。

コロナウイルス感染症の影響のせいか、ビラはいつもの1/3しか受け取ってもらえませんでした。カンパの方はわりと入っていたので、良かったです。いつも3.11直後は冷え込みが厳しく、今年も、本当に手足が痺んで、ガタガタ震えた3時間でした。

私ごとですが、2月末から左目が虹彩炎となり、3月8日の朝についに目の前が真っ白になって見えなくなるということがありました。右目は既に見えなくなっていたので、これでほんとに何も見えなくなってしまったのです。恐くなって、その日すぐに病院に行ったら、直接目の中にステロイド軟膏を入れるように、処方を受けました。それから2~3日後、目の前の景色に色が戻ってきたので、ホッとしました。文字もだんだんと読めるようになり、今はだいぶ回復してきています。

そうして、ぼんやりとしか見えなかったのですが、街頭カンパには参加ができたので、本当に感謝しました。その日、いっしょに参加をいただいたJCILの皆さん、介護者の皆さん、西小倉めぐみ教会の皆さん、ペンギンの会の皆さん、本当に有難うございました。

次回は10月の予定ですが、今のコロナウイルス感染症の現状を考えると複雑な思いがします。みんなで最善の方法を考えたいと思います。これまでと変わらず、「東日本大震災・福島原発事故・熊本地震の被災」を風化させないために、私たち「障害」者が伝え続けなければならないと、そう思っています。

今回のコロナウイルス感染症の事では、「障害」者のふだんの生活を大切に考えて、溢れている情報には振り回されることのないようにして、そして、毎日換気や消毒をきちんとして過ごすようにしていきたいですね。正直を言うと、介護者それぞれは介護をこれからも続けられるのか、感染者が一人でも出たら「障害」者の生活は一変してしまうのか…、色々と考えてしまって、とても不安です。でも、どんな状況になっても、自分から自立生活をあきらめる事はしたくないです。自分で必死に考えて、最善の道を選びたいです。ペンギンの会のメンバーも、それぞれ大変ですが、皆で支え合って、しのいでゆきます。

皆さんも、どうぞ御自愛ください。互いに、何かの形で支え合えればと願います。これからも一緒に歩んでください。よろしくお願いいたします。

李清美

「コロナ禍と障害者」

繁周作

今現在は世界中を巻き込む「コロナ禍」の真っ只中だ。

報道は勿論のこと、妻を始め誰と話をしても殆どコロナ禍の話題ばかり。私の頭の中も「コロナ禍」ならぬ「コロナ渦」が渦巻いている！

そんな中「障害者が感染し重篤化した場合の『優生思想による命の選別』への懸念」、ウィルス感染自体とは別の「障害者の命に関わる問題」がある事に気付かされる。

この重い問題を超ベテランの障害者運動家の大先輩の方々が多く読まれているであろうペンギンニュースで書くのはちょっと緊張するのだが「ご批判を受けるのも修行のうち」と割り切り、勇気を振り絞って私なりに書いてみたい。

○人工呼吸器使用に関するガイドライン (米アラバマ州)

コロナ禍が世界的に猛威を振るう中「人工呼吸器が不足している」という。そんな中、米アラバマ州で「人工呼吸器使用に関するガイドライン」が発表された。

そのガイドラインでは「新型コロナに感染し、重篤化した場合の人工呼吸器の使用の優先順位をダウン症、自閉症、脳性麻痺の人々は働き盛りの健常者より下にする」という事項が含まれるという。

それは「障害の有無で生命の価値を決める⇒優勢思想に基づく命の選別」に他ならない。

※トリアージ自体は「悪」ではない

病院には通常、緊急時のトリアージのガイドラインが存在する。

トリアージは大規模な災害・事故・テロなどが起こった場合、医療現場の限られた人材・機材・スペースの限界を超えること（医療崩壊）を防ぐため治療の優先順位を決めることだ。

つまり、本来は「医師が傷病の重症度・緊急度を判定し、それらの度数が高い者を優先する」のが大前提であり、その前提においては「一定の合理性がある」と考えられる。

ところが、米アラバマ州の同ガイドラインではその大原則を大きく逸脱し、優先順位を決める基準に「障害の有無」を盛り込もうというのだ。

もしそうなれば、それはトリアージではなく「根拠のない偏見と差別による『命の選別』」でしかない。



○千葉県東庄町の障害者施設で新型コロナウイルス感染～利用者は施設内で隔離・治療～

コロナ禍が始まった当初から恐れていた悪夢が現実となった。それは「障害者施設での集団感染」と「優生思想に基づく命の選別」だ!!

「118 人集団感染し『病院化』した障害者施設」（毎日新聞のニュース・情報サイト 2020 年 4 月 20 日 17 時 22 分より抜粋）

障害者支援施設「北総育成園」（千葉県東庄町）に新型コロナウイルスの集団感染が発生した。

感染者発生を受けて官民が協力して施設を「病院化」した初めてのケースで、入所者の症状は回復傾向にあるという。現地では防護服などが不足する中、職員らが入所者の身の回りの支援を続けていた。

と、なんだか「職員らが献身的に入所者の身の回りの支援を続けた結果、無事回復しつつある」という成功例・美談のように書かれているが、実はそうではない。

問題は 3 月 28 日に千葉県の担当課から報道発表された「障害福祉施設における新型コロナウイルス感染症の集団発生について」（千葉県ホームページ 報道発表案件 更新日：2020 年 3 月 28 日）の文書中の「基本的な対応方針」という項目で…

※陽性となった利用者、職員への対応
・利用者：施設内での隔離・治療
・職員：入院措置

と明記されていた事だった。

つまりは「健常者の職員は入院させるが、障害者の利用者は入院はさせず同施設内で隔離する」という意味だ。

結果的には 4 月 18 日時点で「容体は安定してきた」とのことで事なきを得つつあるようだが…

それにしても一つ間違えれば「重症化し、それから病院に搬送しても手遅れで死亡していた可能性もありえた」訳で結果がどうであれ、これは「優生思想に基づく命の選別」に他ならず断じて許されないことである。

ちなみに大手新聞の中で「ちょっとはマシか」と思っていた毎日新聞がこのような「優生思想」的な記事を当然のことのように載せるとは少なからず落胆を禁じえない。

「もっともっと障害当事者自身が声を上げるしかない！」と改めて強く思った次第だ!!

どうなる??! 繁家のご近所付き合い その②

繁朋子

前号では、「町内会の BBQ 会に参加して何名かの方たちと話が出来て、思いのほか楽しく過ごせて、さて鍋パーティは実現するか？」というところまでだったので、今回はその後の展開ですが、その前に 12 月 15 日に醍醐寺で行われた「伏見区総合防災訓練」への参加をめぐる区役所とのやり取りで「何だかナア～（へ-;）」ということがあったので、そこからいきます。

その伏見区総合防災訓練への参加は、障害者防災会議のメンバーで同区 M 島にお住まいで自主防災会々長の Y さんから「自分は参加する予定だが、体調によっては欠席もありうるし、繁さんとこの近所であるんだから、あなたたちも参加してはどうか？」と開催日の数日前にお誘いをいただいたことがきっかけでした。

それで私と夫は車イスで参加するので念のため、区役所醍醐支所の地域力推進室防災担当へ参加する旨を伝えに行きました。「Y さんからお誘いを受けた」と伝えたと、Y さんのことは伝わっていたらしいので、すぐに話は終わるものと思っていたのに 3 名の職員が出てきて、「参加されるのなら介護者同伴で来てください」と言うのです。

私たちは普段、日中の数時間だけ介護を受けて生活しているので「休日に急に介護者連れてと言われても無理です」、

「行事の行なわれる金堂前は桜や紅葉の季節によく行っているので大丈夫です」、「今回の防災訓練は自主防災会の方たちが多く参加されると聞いているので、何か必要があれば、周りの人に声をかけて手伝ってもらいます」と言っても、職員たちは「座席の場所が砂利道であることや坂道があること」を理由にあげ、はっきりとは言わないまでも、参加を諦めて欲しそうにしています。行政主催で行われる防災訓練に「参加表明をただけでこれか？」と思うと、「何としても参加を諦めないぞ!」という思いが強くなりました。

そして私は「動きやすい人たちだけでやりたいというのは、はっきり言って

『排除』ですよ」、「実際に災害が起こった場合、私たちだけでなく高齢者の方とか、もっと多様な方々が避難して来るんですよ。この防災訓練を何事もなく予定通りに終えることが大事ですか？少しぐらいイレギュラーな事があっても実際の場合に役立つような経験にする事か、どちらが大事ですか？」と尋ねました。役所の人には小さな声で「それは後者でしょうね…」と言いました。夫は「私たちには命がかかっているんですよ!」と念を押しました。もうこれ以上話してもキリがないと思った私たちは「とにかく当日に集合場所に行きますから」と言って帰りました。

翌日担当課長から電話があって、「参加表明ありがとうございます。当日、車イスの方がいてもらう場所を石畳の所に

決めましたので、そこにいてB班として参加してください」、「当日は同じ学区から町内会長さんもどなたか参加されますので」ということが伝えられました。それを聞いて「何も問題なかったやん、役所で会ったひとが過剰反応しただけか？」ぐらいに思って、当日を迎えました。ところが…。

当日午前8時40分頃金堂前に集合することになっていたのですが、近くまで行くと町内会長の奥さんのAさんが待ち構えてくださっていました。今日は本当は町内会長さんは仕事の都合で来られず副会長さんだけ出席の予定だったのが、私たちが出席するという役所からの連絡を受けて、急きょ副会長さんとAさんの2名で来てくださったとのことでした。私たちを誘ってくださったYさんもM島にある事業所A館のSさんとTさんが付き添って到着されました。私たちの場合もYさんの場合も当事者が希望したのではなくて、役所が手を廻して付き添いを頼んだのでした。

総合防災訓練なので何か取り立てて特別なことをするのかと思っていましたが、醍醐寺の近くのT高校のキャリアコースライフマネジメントクラスの生徒による応急手当方法や応急担架の作り方が披露されたり、炊き出し訓練と称して最後に豚汁とおにぎりが出たり、私たちとは別のA班では別の場所を使って帰宅困難者の誘導訓練があった以外は、煙体験、消化器訓練、AED使用訓練などで町内会の防災訓練とほとんど変わりのない

プログラムでした。特に残念に思ったのは「要配慮者支援」と書いたテントだけは建っていて椅子が並んでいましたが、そこで何か具体的な訓練が行われている様子もなく、それについての説明もなかったもので、まだその課題は手が付けられていないことをよく表しているように見えました。そしてそれに反してというか、これは良くも悪くも京都らしいと//言えるのかも知れませんが、国宝五重塔からの仏像運び出しを想定した放水訓練が最後を飾るセレモニーとして華々しく行われた事です。役所はそうは絶対言わないでしょうが、いざとなったら住民の命よりも国宝なのか？とってしまうのは穿った見方でしょうか？

そしてこの防災訓練に参加したのをきっかけに町内会のLINEに加えていただいたので、Aさんや副会長さんに「お疲れ様でした」の挨拶とともに、今回急に役所から連絡がいき、付き添っていただくことになった経緯と役所の人がやったこととはいえ、対応していただいたお詫びとを書き込みました。幸いにもAさん



や副会長さんは気の良い人たちで、今回は私たちが地域の行事に参加することを喜んでくれているようなので助かりましたが、私たちが積極的に動くたびに役所が過剰反応をして町内会長が忙しくなるのでは困るので、当事者の意向を無視して勝手に町内会に押し付けないよう役所に言っていく必要を感じました。

私たちが町内会の LINE に入った途端に会長の奥さんや副会長さんにお詫びしている所以他の人は「何事があったのか？」と思ったのでしょう。BBQ 会で親しく話した N さんと I さんが心配して家を訪ねてくれました。そんなことをき

かけに BBQ 会で親しくなった人たちに声を掛けて、2 月 29 日に家で鍋パーティが難く実現しました。その頃は新型コロナウイルスの事がニュースにはなっていたものの今のような被害は出てなかったので、皆も気にせずやる気満々で、買い出しを引き受けてくれた N さんと I さんが積極的に会費の提案をしてくれたり、近所のスーパーに務めている K さんのおかげでお肉もお魚も格安で分けてもらえたりして、大人 12 名・子ども 4 名の参加があり、また「ホンマかいな？」と思うような大盛り上がりで楽しいひとときを過ごすことができました。



サンダーバード号事件（1）

李清美

「ペンギンの会」では、毎年レクリエーションとして二、三泊の旅行に行っています。会員の友達や関係者も誘って、介護者もあわせて20人くらいで行きます。1995年頃、私が参加しはじめてだいぶ経った頃に、このレクリエーションでこんな事件がありました。

その年は能登半島の和倉温泉に障害者の保養施設があるので、そこに行こうという話になりました。当時一泊5000円くらいで、介護者は半額になる施設でした。ちょうどサンダーバード号が開通して京都から三時間半で行けるので、それで行こうということになりました。

事件は帰りの電車で起きたのですが、行きにもちょっとトラブルがありました。まず、電車の入口が二つしかなく、停車時間が三分しかありません。そして、いつもは車椅子対応のために三、四人出てくるはずの駅員さんが一人しかいませんでした。その駅員さんに「え？一人ですか？」と言うと、「僕は何も聞いてません」。そのうちに電車が来てしまったので、とりあえず見送りの介護者などの人手を使って電車に乗り込みました。そういう人手があったから何とかなったものの、行きにもこんなふうにもめそうになりました。

そして帰りのこと。和倉駅にちょっと早めに着いてホームで待っていると、駅員さんが話しかけてきました。「障害者席があるんですよ。実は一ヶ所だけ、車椅子ごと乗れるシートがあるんです」。案内しても

らうと、入口の傍に座席が一つあり、その横が車椅子スペースのようになっていました。乗ってみたら入れたので、

「切符買っちゃってるんですけど、ここに乘っていいですか？」とききました。駅員さんが「いいですよ」というので、これはラッキー、ここで寝ていよう、と思いました。

他にも、「障害者が優先的に使えるベッドの部屋があるんですよ」と案内してくれました。トイレの前の部屋に、一人寝られるくらいの簡易ベッドが置いてありました。「こういうのできたんだ。切符買う時に教えてくれたら乗れたのにな」と思いながら「今度、この電車で来る時は楽できるわ」とその時は喜んでいました。

私は車に酔うので、いつも発車前に強い酔い止めを飲み、車内では寝ています。乗り降りの時には目が覚めていないと危ないので、薬の効く時間を計算しながら工夫して飲みます。その日も酔い止めを飲み、その車椅子スペースでうとうとしはじめた頃でした。何かが車椅子にガンガン当たっています。驚いて目を覚ますと、車内販売のカートでした。売り子さんが座席の横に来て「そっちにちょっとどいてください。車通したいんです」と言います。通路の反対側の座席はまだ空いていて、その座席を少し回転させると、何とかカートは通れました。その時はそうやって通ってもらって、またうとうとしていました。

するとしばらくして、また同じようにカートが車椅子にガンガン当たりました。私はその時にはもう何も考えずに寝ていたの

ですが、びっくりして目が覚めました。ぱっと周りを見回すと、車両が満席になっていて、カートを避けていた座席も人が座っています。同じ売り子さんが今度は「あの、ちょっと通れないので、デッキに出てもらえますか？」と言いました。「そっか、私ここにいたら通れへん。私の車椅子が普通より大きいからかな」と思って、私はその時はデッキに出ました。車椅子は介護者が押してくれるので、朦朧としていても行き来はできます。デッキに出てカートを通して、また戻ってきてうとうとしていました。

でもそれは一回では終わりませんでした。それから三回、カートが来るたびにデッキに移ることになりました。酔い止めで平衡感覚がおかしくなっている上に、揺れている電車の中で動くので、三回目くらいで気分が悪くなってきました。介護者に「あと京都までどのくらいかな」ときくと、「二時間くらいかな」。二時間は長いな、と思いました。こんな行き来を続けていたら吐くかもしれない。それで介護者には「じゃあ私はしばらくデッキにいるから、あなたは座席に帰って、時々見に来て」と言って、デッキに残ることにしました。介護者は心配なので何度も見に来ます。そのうち、「清美さん、顔真っ青やし、むこう行った方がいいんちゃう？」と言われました。たしかにデッキは空気が悪く、揺れや音も大きくて、気分が悪くなってきていました。

それと同時に、だんだん腹も立ってきました。私も健常者と同じお金払って、客と

して乗ってるのに、なんでこんなところで我慢せなあかんねん、と思いました。その時、同行していた宮崎さんがベッドの部屋にいて、「私は酔わへんから、代わったげるしこっちに入り」と優しく言ってくれました。そこに入ったのですが、いろいろ考え始めるともう眠れなくなりました。代わったら、今度は宮崎さんが同じことをしなければいけなくなります。そんなことはさせられへん、なんで体の不自由な者どうしでこんなに配慮しあわなあかんの、と思いました。

そこで部屋を出て、宮崎さんには「私もとの席に帰るわ。車掌さんに言ってなんとかするから。ありがとう」と言いました。介護者にも「ちょっともめるかもしれないけど、黙っててくれたらいいから。カートが来ても私寝たふりするから」と言って、フードをかぶって眠り込みました。

しばらくすると、またカートがやってきました。もうそこまでするか、と思うくらい、車椅子にガンガン当ててきます。「すみません。またデッキ出ただけですか。通れないんです」。また何回か言われましたが、もう寝たふりをしていました。すると、売り子さんが車掌を呼んできました。そして車掌が私の車椅子の前に回り、売り子さんと同じことを言います。しかたないので私も起きて、「最初はあそこによけて通ってもらってたんです。他のお客さんに動いていただいて、またあそこ空けてもらえませんか。そしたら通れるでしょ。私はもうデッキには出られません。これ以上出たら、もう本当に吐きそうなんです。

具合が悪いから、配慮してもらえませんか」と言いました。

でも、車掌には全く通じていないようでした。売り子の側に立って、「この方たちは委託業者で……」とか「この方たちも売り上げが……」とか、込み入ったことを私に説明しようとしてきます。「そんなことを言われてもわからないし、ここだけ通らないで手渡しで売るとか、なんとか工夫してもらえませんか」と私が言うと、「ちょっとお待ちください」と言っていったん帰っていきました。そしてまたもう一人連れて、三人で戻ってきました。さすがに何か対応を考えてくれたのかな、と思ったのですが、それまで立っていた売り子さんが私の前に座って、視線を合わせて言った言葉はこうでした。

「申し訳ございません。出ていただけないでしょうか」

私はこれで、もう目がバーっと開きました。こいつら私を殺す気か！

障害者に対する、病人に対する配慮が全くない、委託業者の側にしか立たないこいつら。サンダーバードかなんか知らんけど、JR はいったい何のために車両を広くしたんだ！

「すみません、具合悪いって言ってるでしょ」

売り子さんがまた小さい声で、「出てください……」と言いました。それで私は、

「もう吐くと思いますわ。ここまで来てるの。また出たら絶対吐くと思うんですけど、いいんですね？私は首動かへんし、こ

こら、じゅうたんの上とかに、バーっと吐きますよ！」と大声で言いました。

その時でした。横に座っていた人がじろっと私を見て、まわりの乗客が一斉に立ち上がりました。「もうここに置いといたげて！」と三、四人から同時に声がかかってきました。私は「え？すごいな」と思いましたが、もう必死だったので、恥ずかしいとかそういう気持ちはありませんでした。

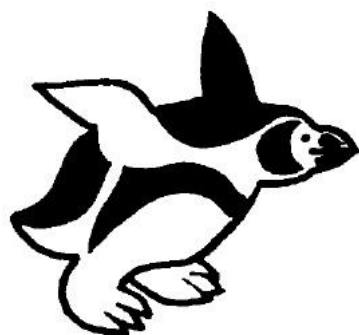
それでも、車掌は今度はその乗客たちの方を向いて、デッキがどうこうとか売り子がどうこうとか、また同じようなことを説明しています。すると乗客の一人が、「そっちの言い分はようわからんけど、じゃあとにかく僕らが立って、売り子さん通してあげたらいいんでしょ」。そして、京都までそうやって席を空けてくれました。

※後編「サンダーバード号事件（２）」は次号に掲載いたします。

この文章は李清美のブログ「私はマイノリティ～李清美のブログ ある自立「障害」者のつぶやき」でも読むことができます。



僕は今就職活動しています。去年の秋頃から就職面接会やハローワーク等に行って就職活動を行ってきましたがなかなか見つかりません。生活保護のお陰で生きてはいけますが、なにぶん資格の勉強以外にやる事が無いので勉強に疲れたら日々気分転換に通っている近所の病院(病気ではありません)のテレビを見たり図書館で勉強したりと孤独な日々を送っております。約7年前に始めた資格の挑戦も気がつけば今年で7年目。思えばあっという間でした。毎年今年こそはと思って受けていますが、なかなか結果が出ずに忸怩たる想いでいっぱいです。皆さまの中に法律の勉強で一緒にやってもいいよって方がいらっしゃったら dongchunzhijie@gmail.com までご連絡してください。ちなみに今年の5月に試験があり6月には結果がわかるのももしダメだったら作業所に通いながら資格の挑戦を続けようと考えています。



【ペンギンの会 2019 年度の行事・できごと】

★4月4日(木)

お花見

場所：岡崎疎水、京都モダンテラス



★9月1日(日)

納涼会

場所：ホテル京阪京都

★9月15日(日)

日帰りレクリエーション旅行

場所：びわ湖 湖西、
びわ湖大津プリンスホテル



★10月14日(月)

被災障害者救援街頭カンパ

場所：四条河原町

※募金額 ￥39,083-



★3月15日(日)

被災障害者救援街頭カンパ

場所：四条河原町

※募金額 ￥46,665-



【2019 年 4 月～2020 年 3 月 ペンギンの会に会費・カンパをいただいた皆様】

(敬称略・順不同)

☆月会費

小山弘 李清美 湯口真 繁朋子 繁周作 岡安聖美

計 4 万 7 千 5 百円

☆年会費

森岡均

計 6 千円

☆カンパ

濱頭直子 矢野恵子 北角和恵 河内啓介 河村史子 東真理子 藤田光恵
金光敏 岩本豊・京子 湯口憲子 浦辻宏昌 里中悦子 金順喜 又川秀喜
村上さとみ 小谷田裕美子 内田裕子

計 1 1 万 1 千円

総合計 1 6 万 4 千 5 百円

以上の会費・カンパをいただきました皆様、そしてその他ご支援をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

自立障害者グループ ペンギンの会

〒612-8411

京都市伏見区竹田久保町 62 番地

足立ハイツ竹田 132 号

(地下鉄烏丸線 くいな橋駅 徒歩 4 分)

電話：075-755-8177 (FAX 共)

E メール：pengin.kai@gmail.com

ホームページ：http://pengin-kai.jpn.org/

「ペンギンの会」で検索